

「第5回 アフリカで活躍する日本人医師・医学研究者の連絡会議」

別表

質問	山元香代子先生	川原尚行先生	武居光雄先生
活動している国と地域は。	ザンビア共和国 中央州 チサンバ群 ルアノ、ニャンカンガ、サンダラ	スーダン共和国 ハルツーム州 シャルガニール地域 ワッドアブサーレ区 29 村に居住する約 20,000 人を診療。 砂漠地帯に点在する無医村を巡回し、基礎的 な医療サービスを提供する。	ケニア共和国 ナイロビ州、ナクル州  今までに約 4.5 万人の診断及び治療を実施。
年に何回、あるいはどのくらい の期間巡回診療を実施 しているか。	ルアノ 月 2 回 ニャンカンガ 月 1 回 ロサンダラ 月 1 回	通年	毎月 1 回、2013 年 5 月開始、2018 年 6 月 時点で計 59 回。
巡回診療の際のスタッフは どういう人で、何人ぐらいの 構成か。 トレーニングもしているのか。	医師 1 人、準医師 1 人。 臨床カウンセラー 1 人、運転手 1 人、計 5 人。 山元先生不在時は看護師か助産婦が加わる。 サンダラ地区のみ助産婦 1 人（予防接種担 当）、運転手 1 人追加。 ニャンカンガ ムワプラヘルスから コミュニティヘルス アシスタント 1 人（予防接種担当）。 運転手以外すべて国家資格を持った医療従事 者。  3 地区とも 5-6 人のコミュニティヘルスワーカー （CHW）と 10 人弱のボランティアが共に活動。 CHW はすべて正規の研修を受けている。ボラン ティアは年 1-2 開かれる NHC(ネイバーフッドヘル スコミティ) 会合に出席し、一般的な疾病や 保健衛生に関する講義を受けている。	総勢 9 人で村を点々と移動。	ナクル保健省が日給で雇用。 ・Nurse（看護師）3 人 ・Clinical Officer（准医師）2 人 ・Nutritionist（栄養士）1 人 ・Pharmacist（薬剤師）1 人 ・Records(保険情報記録オフィサー) 1 人 ・HTS（エイズカウンセラー）2 人 ・CHEW(保険普及官) 1 人 ・学生、アルバイト等（当法人より）  医師、看護師、理学療法士、作業療法士、臨 床工学技士、臨床検査技師等計 20-30 人。  トレーニングは実施している（人材育成プログラ ム）

<p>巡回診療をする際の車輛はどういうものか。 何台で行っているか。 搭載器機、携帯している医薬品は何か。</p>	<p>ランドクルーザー 乾季 1 台 雨季 2 台 サンダラへは 2 台（遠距離のため）。 雨季は川が渡れず行くことができない。</p> <p>搭載するものは、37 種類の経口薬、14 種類の注射薬、5 種類の外用剤、家族計画の薬剤 2 種類、ヘプス、検査キット（マラリア・HIV・妊娠反応、尿検査）表参照血圧計、体温計、体重計、ペンライト、舌圧子、アンビュバッグ、ガーゼ、包帯、絆創膏、副木、注射器、針、点滴セット、アルコール、手袋、石鹼、タオル、巻き尺、胎児心音聴診器、紙コップ、クロリン、コンドーム、水差しとコップ、蚊帳、折り畳みの椅子、机コンテナ、患者用ノート、患者登録ファイル、ミネラルウォーター、懐中電灯、予備の電池、ごみ袋、車修理道具、斧、スコップ、 引棒。</p> <p>巡回診療の準備のためのチェックリストがありそれに従い準備する。</p>	<p>ランドクルーザー</p> <p>ワクチン接種、栄養状態の検査、妊産婦検診、産後検診、出産立ち会いを行う。</p> <p>モバイル型エコー開発の源流は、スーダンの巡回診療からのアイデアである。</p>	<p>ランドクルーザー等（巡回診療専用車ではない）3～4 台</p> <p>ナクル保健省が準備する薬 Metronidazole（抗原虫薬）、Trimoxol（抗生物質）Metacycline（抗生物質）、Omachillin（ペニシリン系抗生物質）、Abgenta（Gentamicin：抗生物質）、Elocin（マクロライド系抗生物質）、Cotrimoxazole（ST 合剤）、Griseofulvin（抗真菌薬）、Dawastin（抗真菌薬）、Doxycycline（マラリア予防薬）、Diagone kit（マラリア検査キット）、Metformin（経口糖尿病治療薬）、Magnomint(緩下剤) AIDS 診断キット、抗エイズ薬等</p> <p>医療機器の搭載が可能となれば巡回診療の質の向上に寄与できる。</p>
<p>巡回診療をする際の費用はいくらぐらいかかるか。 その費用はどうねん出しているか。 患者さんからの支払いはあるのか。</p>	<p>車 1 台で行ったとして、 燃料代+通行料 9,500 円 日当 6,000 円 薬剤約 50,000 円 合計 約 70,000 円 2017 年と 2018 年の合計薬剤購入/95 回</p> <p>NGO への寄付金からねん出、患者の支払いはなし。</p>	<p>医療活動費用等は、ロシナンテスが力を貸してくれている。2017 年の場合、経常収益が 116,368,950 円でその内寄付や会費が 86,225,272 円。</p>	<p>州保健省が準備する人員、薬は州が負担。後は自己負担。</p> <p>患者の支払いはない。</p>

<p>現地政府や自治体との協力体制はあるのか。</p>	<p>十分とは言えない。ニャンカンガ地区の予防接種に関してはムワプラヘルスポストのスタッフが実施している。ルアノ・サンダラ地区の予防接種のワクチンはヘルスセンターが提供するが、接種担当者は ORMZ で雇用している。家族計画のピルや注射薬の提供を時々受けることがある。ヘルスセンターは入院患者の受け入れをする。</p>	<p>保健省からなかなか予算がおりないが、診療所一棟の予算がおりた。</p>	<p>州政府が巡回する場所を決めている。</p>
<p>その他</p>		<p>スーダンの薬草 スーダンと熊大薬学部が研究をしている。同時に熊大と大正製薬でもスーダンの薬草の研究をしている。診療ばかりでなく住民への健康教育に力をいれたい。</p>	<p>巡回診療に於けるサービス提供内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一般診療・治療</li> <li>2. 妊婦一般検診</li> <li>3. 妊婦 HIV 検診・カウンセリング</li> <li>4. 家族計画</li> <li>5. 児童検診、診療       <ol style="list-style-type: none"> <li>① 予防接種</li> <li>② 成長モニタリング・栄養チェック</li> <li>③ ビタミン A 投与・駆虫薬投与</li> </ol> </li> <li>6. 一般内科的検査（血液、尿、マalaria等の感染症）</li> <li>7. HIV カウンセリング（3 以外）</li> <li>8. 衛生教育・保健教育・健康指導・疾患指導</li> </ol>